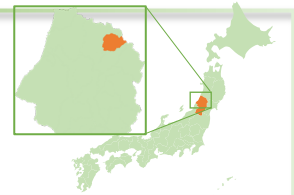


寒冷地における落花生産地化プロジェクト

山形県金山町



気候変動と高齢化を見据えた転作作物を導入。町、大学、金融機関、地元企業、農家が連携し、新たな特産品の開発により地域を活性化。

主な関連分野
農業・林業・水産業

地方創生×適応の視点

気候変動による影響／地域課題

- 少子高齢化を踏まえた持続可能な地域農業への転換（コメからの転作作物の検討）
- 温暖化に伴い、寒冷地では栽培が困難とされてきた落花生等暖地性作物の栽培地域が急拡大



解決に向けた取組

- 転作作物として暖地性作物の落花生を選択
- 落花生製品の企画開発、製造、販売促進
- 栽培や商品開発等の体験の実施



取組の効果／期待される効果

- 新たな特産品の産出
- 6次産業化による関連産業の振興
- 体験の実施による関係人口の増加
- 農福連携を通じた地域の連携強化
- 地域に貢献する若者の育成

取組概要

高齢農家の離農や経営縮小により、遊休農地の増加、農家の所得の減少が課題

三者協定のもと落花生の新産地化を推進

金山町

山形大学

地元豆菓子メーカー株式会社でん六

アドバイザー

新庄信用金庫

経費補助
勉強会等

学術的
知見

栽培技術
商品化等支援

資金面
の支援

生産者による「金山町新産地開発協議会」の設立

- 生産ノウハウの確立(栽培マニュアルの整備)
- 落花生農家数・作付け面積の拡大
- 落花生専用の特殊な作業機器の貸し出しや作業受託



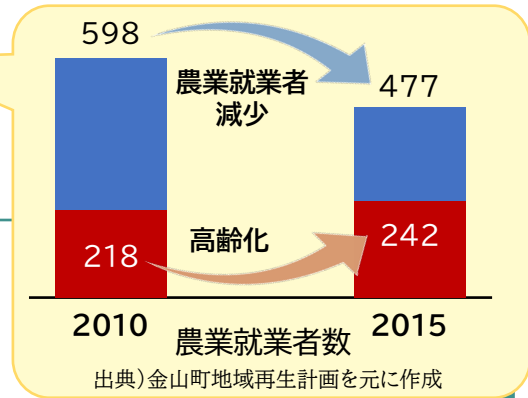
山形・金山町産 落花生「ビーナッツ」

サヤに黒いシミがなく綺麗な見た目で、マメの甘味が強いため、美味しく美しい「ビューティフルなピーナッツ」の意味から「ビーナッツ」と命名



背景

- ・ 少子高齢化や人口減少により過疎地域に指定
- ・ 基幹産業である農業就労者の高齢化、遊休農地の増加
- 農作業の負担軽減、新産業創出が必要



2016
-2017

山形大学東北創生研究所による
山形県での落花生の栽培試験 → 山形県北部での落花生栽培は可能！

金山町・山形大学・地元豆菓子メーカー(株)でん六
の3者で**地域農業振興協定**を締結

栽培技術、学術的知見提供、資金援助

アドバイザーとして関与
日本財団「わがまち基金」申請

新庄信用金庫

人材育成機会提供

商品開発支援等

2018

生産者らが**金山町新産地開発協議会**を設立

- ・ 生産ノウハウの確立(栽培マニュアルを整備)、生産者数・面積の拡大を推進
- ・ 特殊な作業機器を準備し、作業受託や農機具貸出を実施
- ・ 一般、大学生、高校生、小学生への学びの機会の提供
- ・ 障害福祉サービス事業者等への作業委託(農福連携)

落花生供給

企業、新庄市管内飲食店等



↑ビーナッツ(素焼き・揚げ塩)(㈱でん六)



↑モンナッツ
(新庄信用金庫若手職員と学生が考案)
↑ろーるなッツ(地元高校生が考案)
(いずれも地元スイーツ店おかしの家)

2019年

金山町ブランド落花生「ビーナッツ」販売開始(2019.9)

- ・ 町内飲食店等での商品開発・販売
- ・ 企業・学生等とのコラボ商品の開発
- ・ 小学生の体験授業(商品共同開発)

金山町・(株)でん六・金山町新産地開発協議会の3者で
産地化推進のための3者連携協定を締結



↑2022年度共同開発商品事例(㈱でん六)



↑「よしもとカレー
かねやまビーナッツ編」
(吉本興業㈱とのコラボ企画)

最終目標

- ・ 落花生の一大産地化
- ・ 持続可能な地域農業への転換

(出典)

- ・ 金山町「広報かねやま 2019.11」
- ・ 金山町「広報かねやま 2022.1」
- ・ 農林水産省「農林水産業・食品産業に関するESG地域金融『実践事例集』(令和5年3月)